

Live

会報 平成31年3月9日 発行

 シルバーたんば

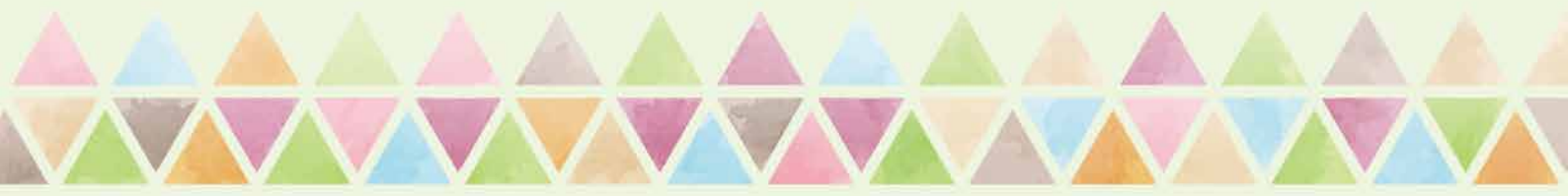
〈第54号〉

～ライブ・生きる～



ふれあい

公益社団法人 丹波市シルバー人材センター



と「ふれあい」とは社会活
 動時、活動をスムーズに、前
 ・調和・工夫・改善・目的・
 して活動出来る雰囲気を作
 り、地域やシルバーの活
 動の気持ちを持って接し、
 感謝の気持ちで迎えられる

(山南町 F会員)

シルバー人材センターで家事援助サービスが始まったのを機会に登録
 させていただいたのは四・五年前になるかと思います。

仕事は独居老人の方の買い物・家の掃除・衣類の整理・話し相手・窓
 ガラス拭き・不自由な事を手助けする事等様々です。数時間の就業です
 が、さっぱりと家の中が片付くと発注者の方から「ずっと気にしていた
 事をしていただけた。自分一人では到底出来ない。本当にありがたい事
 です。」と言っていたき、私達は少しの満足達成感をも感じております。
 スーパーや病院等で時々お会いすることがありますが「あの時お世話
 になりました。又お願いします。」と声をかけていただく時は、私達の
 出来る事があればさせていただき、地域の方々とのふれあいや結びつき
 によりその輪が大きく広がっていけばと常々思っております。

(氷上町 K会員)

という選択肢



ついて聞いてみました

で4年間就業させていただ
 かった多くの人との出会い
 経験でした。四季折々の行
 笑顔、若い人達の努力、保
 持。

世代の人に爽やかな新鮮さを

ないと狭い世間に留まらず、
 出来たらと思っています。

(春日町 M会員)

シルバー会員になり、約10年になります。会員として
 色々な仕事をして、人との出会いも多くあります。昨年
 の暮れ、町域の忘年会が開かれました。今までこのよう
 な会はなく、初めて開かれた会でした。早速申し込んで
 出席し、皆と和気あいの会となり楽しい時間を過ご
 させていただきました。

初めて会った人や話をした人もいて、会員同士のふれ
 あいの大切さを知りました。このような場を今後も作っ
 てもらえる嬉しく思います。

(市島町 N会員)



シルバー会員になって4年余り。人々とのふれあいが、如何に大切か、如何に楽しいか日々感じております。この歳になると、煩わしい事もありますが、人々の温かい心に触れ、癒されています。仕事・趣味・ボランティア・家族、挙げたらきりが無い程、どの時も愛をもらい幸せを感じます。何事も、若い時の様に熱くならず、適度の緊張感と最大の楽しむ心を持ち、これからも横の繋がりを大切にしていきたいと思います。

(柏原町 Y会員)

私なりに解釈させてもらって、活動が目的を持って組織された方向に進行させるため「誠意親睦」等を「共通の認識」とするための総称だと思います。活動の中で何事にも「ふれあい」の仕事をいただく方から信頼と励みに励みたいと思います。

シルバー人材センター

ふれあいの大切さに

Uターン後、シルバー会員になりました。当時は知人・友人が少なく心細くありましたが、会員として就業するなかで多くの皆さまに声をかけていただき、今では親しくお付き合いさせていただいています。

就業先ではいろんな趣味や特技を有するなど個性豊かで幅広い人々と接する機会があり、高齢者になっても、まだまだ教えられることがあります。今後も人との出会いや繋がりを大切に楽しく歩んでいきたいと思っています。

(青垣町 A会員)

シルバー会員として、学校に活動してきました。家に居たら出来なことは、とても嬉しく貴重な人生の中で見た子供達の純粋な活動や、保護者の方々の思いだったり、同世代の人には無い、異世代ならではの活動を感じました。

これからも歳だから仕方なく、広く新しい社会環境で活動出



大好評

社会貢献活動 その1

冬休み子ども習字教室

(公社)丹波市シルバー人材センターには「筆友会」というネーミングの習字同好会があります。講師(シルバー会員)の先生を中心に、月2回、和気あいあいと練習されています。会員が一生懸命書き上げた作品は、センターの定時総会やシルバーまつりの機会に展示披露し、又、例年「丹波の森新春書き初め展」にも出展されています。

この習字同好会の活動を活かして、平成30年度「冬休み子ども習字教室」の新規事業に取り組みました。

参加受付開始と同時に、大勢の方の申込みがありキャンセル待ちが出るほどの事業となりました。

参加いただいた方の動機は「子どもが参加を希望したから」「冬休みの宿題の書き初めを子ども親もどうしてよいかわからない」「お習字の習い事に行っていないのでお試しで」「お習字を教えてほしい」様々ですが、それぞれに「冬休み子ども習字教室」への期待感が伝わってきました。

参加した子供たちは、緊張した面持ちのなか、先生の筆の持ち方等、基本の説明に熱心に耳を傾け一生懸命練習していました。



社会貢献活動 その2

シルバーボランティア

市内一斉に年2回、公共施設の剪定、草引き、草刈を中心にシルバーボランティアを実施しています。町域毎に大多数の人数で作業をするので、見る見るうちにきれいになっていく作業風景は正に人海戦術そのものです。

丹波市国民健康保険
青垣診療所



丹波市 春日庁舎



丹波市 山南支所



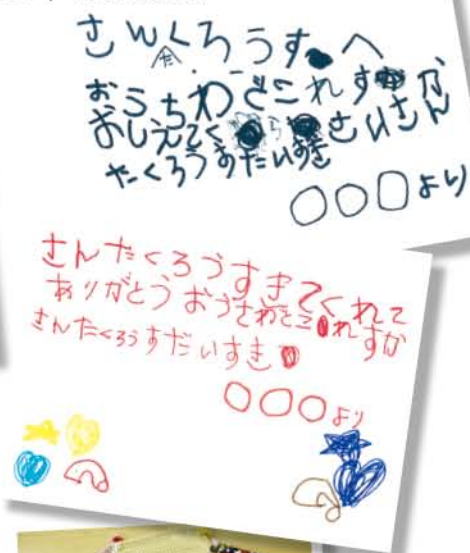
丹波市 市島支所

社会貢献活動 その3

サンタクロースボランティア

世代間交流の一つとして、平成25年度よりサンタクロースボランティアを実施しています。丹波市内2園の認定子ども園（順次訪問）のクリスマス会に会員がサンタクロースに扮して参加します。当日は子どもの夢を壊さないようにと念入りな打ち合わせをして臨み、毎年大活躍です。

平成30年度は手芸同好会会員による手作りの「コップ袋」をプレゼントしました。



かすが森の子園よりお礼の声をいただきました

「サンタさん、ありがとう!!」

かすが森の子園のクリスマス会に、シルバーの方にサンタクロースに扮していただき、参加してもらいました。

3・4・5歳児からはサンタさんに「サンタさんはクリスマス以外の時は何をしているの？」等質問をしましたが、どの質問にも分かりやすく答えていただきました。また、子ども達と一緒に手遊びやダンスをしてもらったり、プレゼントをいただいたり、笑顔いっぱいになりました。

コップ袋のプレゼント



シルバーまつり

平成30年
10月13日開催

「丹波市シルバー人材センター」の存在を広く知っていただくため「シルバーまつり」を開催しました。オープニングに丹波沼貫よさこいチーム「一心貫」様をはじめ認定こども園ふたばの園児によるダンスで会場を盛り上げていただき、多くの市民の皆さまにご来場いただきました。



平成を振り返って

●地震・水害等の自然の脅威に加え、地下鉄サリン・原発事故等の人災が多かった。スポーツ界の活躍と人を助けるボランティアの精神に心の大切さを実感した時代だった。(春日町 S会員)

●〈ファミリーヒストリー〉というテレビ番組がある。解説すると出演者の家系図を辿る番組です。上等な家系・普通の家系、様々だが、そこには見事に生き抜き繋いだ人生が紹介されている。平成の私は「先祖のどなたが欠けても今の自分は無い」
そのように想うのが、この番組の不思議な魅力です。
私も生命の力を開かれた「未来」へ繋いでいきたいと思っている。(氷上町 N会員)

●30年続いた「平成」の世も幕を閉じようとしています。激動の平成とも言われるように自然災害やテロ等、決して平和な世の中ではありませんでした。
でも人々は困難を乗り越え、日々前向きに生きています。「Live」のタイトル通り、人は生きて前に進むしかないのです。
生涯現役・100歳時代、「人」も「人の命」も「歩んだ人生」も重きものです。
次の新しい時代も積極的にチャレンジし、頑張りたいと思っています。(市島町 H会員)

●家族の為、職場の為、中堅となって働き盛りであった平成も後、数十日となりました。バブルの崩壊、グローバル化、アナログからデジタルと職場も生活環境の一変、雇用環境・労働条件が変化し、大変な変革の時代でした。
平成からどのような時代になろうと、私たちは健康を第一に心がけシルバー時代を明るく仲間と仕事に励み、楽しみを見つけ健康寿命を延ばしたく思います。(氷上町 T会員)

●昭和62年7月、柏原町シルバー人材センターが誕生したのに続き、氷上町、春日町、市島町、山南町、青垣町にシルバー人材センターが設立されました。(これがいわゆるミニシルバー時代となります)

平成2年10月、当時の氷上郡内各町にあったシルバーが合併し、社団法人氷上郡広域シルバー人材センターが設立されました。その後、平成16年11月、丹波市の誕生とともに、社団法人丹波市シルバー人材センターとなり、平成24年には社団法人から、より公益性の高い公益社団法人に移行しました。

設立当時の会員数は370名、事業実績5,300万円程度。それが平成11年度には、会員数655名、事業実績3億3,675万円と3億円の大台を突破し、平成16年度では、会員数837名、事業実績も初めて5億円を超え、都市部のシルバー人材センターと遜色ないまでに発展しました。平成19年度の5億6千万円という事業実績をピークに現在は3億円台の事業実績を維持する状況ですが、派遣就業実績においては兵庫県下34センター中、神戸市に続く2番目の実績であります。

平成に誕生したばかりの知名度の低いシルバーの就業開拓、町域別会計であった会計の1本化、事務所の統合、同好会や職群班、地域班の立ち上げ、数々の新規事業への取り組み、事業仕分による補助金の削減、幾度と変わる会計基準等、振り返れば、当センターにとって平成とは「センター組織の基礎を作り上げる時代」であったのではないかと思います。

これから始まる新しい時代は、少子高齢化が今以上に進展する中、労働力人口の減少により、企業や介護、育児等のあらゆる場面で現役世代を支えるシルバーの力が必要となります。

平成に築いた基礎の上に、シルバー人材センターが、常に時代の期待に応えられるよう邁進してまいります。(丹波市シルバー人材センター事務局)

「会員拡大による健全なセンターづくりを」

理事長 藤本 幹雄

春遠からじの時候となつてまいりました、平素は公益社団法人丹波市シルバー人材センターに対しまして、関係者皆様の温かいご理解、ご支援を賜っておりますこと、心よりお礼申し上げます。

平成2年10月に設立されて以来活動を続けてまいりました当センター、「平成」も今年の4月30日で終わり、5月1日より新元号に変わる歴史的な年です。

私たちセンターの事業展開の動向は、地域の経済情勢、人口構成、国の法令背景等によって絶えず影響を受けております。

平成30年度上半期の事業実績は受注件数において微増の傾向にありますが、契約金額、会員数は微減又は横ばいです。

また、最近の特徴的な状況として、シルバー人材センターの看板事業である剪定作業や除草作業（草刈り・草引き）が、当該会員の高齢化等によって、発注に十分応えきれない深刻な状況にあります。

会員確保・技術力確保と安全就業向上に向けた講習を継続していますが十分な会員確保に至っていないのが現状です。

今後もこの分野における会員確保を緊急課題として、多面的取り組みを展開していきます。

高齢社会の今日、丹波市にはまだまだ元気な高齢者が沢山おいでになるはずですよ。

当センター会員数は、ここ数年横ばいではありますが、平均年齢は72歳近くまで高齢化してきており、新入会員年齢の高齢化も特徴で、背景には定年制の延長が推定されます。

しかし、高齢者皆様が、長い人生経験・技能と生活の智慧を地域のために提供(地域貢献)していただくことで、高齢者としての生きがいを見出し、健康寿命の延伸を図って頂くため既存会員皆さんによる「仲間拡大のための声かけ運動」は、センターの「健全経営・適正・安全就業」につながることを信じ、魅力・活力あるセンターづくりに、会員皆さんの積極的協力と理解を一層お願い申し上げます。

まだまだ寒さ厳しき折柄、会員・市民の皆様にはお体ご自愛のうえ、ご活躍されることをご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

シルバー人材センター 家事援助サービスのご紹介!!

洗濯して、
干してほしい

部屋やお風呂を
掃除してほしい

自分では行けないので
代わりに買い物に
行ってほしい

窓を拭いて
綺麗にしてほしい

換気扇を
綺麗にしてほしい

1人では心細いので
病院の診察に
付き添ってほしい



家事援助

「ちょっと助けてほしい」場面は人により、家族の状況により違います。

様々な場面の「ちょっと助けてほしい」に可能な限り対応させていただきます。

まずはお電話ください。 ☎ 82-5166

※家事援助サービスで就業していただける会員も募集します。(男性も活躍中)

2人1組で就業していただけます。お友達同士でペアを組んで就業されている方もいます。

会員になって年金プラスおこづかい! 会員募集中!!

あなたの予定は埋まっていますか?
定年退職後、時間が余って悩まれている方いらっしゃいませんか?
シルバーで活躍していただける方をお待ちしています。

登録条件：丹波市に居住する概ね60歳以上で、働く意欲のある方であれば会員登録することが出来ます。

入会方法：事務所まで申込用紙を取りに来ていただいた後、後日入会説明会にご参加ください。

実施予定日

3月12日(火) 午前9時～
3月28日(木) 午後1時～

編集後記

平成最後のシルバーたんばが出来て、ご協力いただいた方や編集委員に感謝申し上げます。来年度も新元号スタートに向けたシルバーたんばの内容充実を期待いたします。(谷垣)

手に取り、読んでもらえる紙面作りを目標に取り組んできましたが、思いを形にする難しさを実感させられました。(西田)

会報を1人でも多くの市民の皆様に目を通していただきたく、この2年間新しいタイトルの中身にふさわしい事柄を考え、4回目の会報を出すことが出来てほっとしています。(稲畑)

楽しい生活を送るには人々のふれあいが大切と思いテーマとしました。投稿された方々ありがとうございました。2年間、7名の編集委員が「見やすく」「親しまれる」会報誌を目指してきました。まだ道半ばですが、次回からは新しいメンバーにてお届けします。(大木)

編集委員をさせていただき「考えること」「学ぶこと」「悩むこと」の繰り返しでした。でも何故かワクワクする私がありました。ご意見いただいた会員様、お読みくださった皆さんありがとうございました。(平井)

ひょうご生涯現役促進事業

55歳以上の皆様の
就労をサポートします!!



高齢者就労
支援相談

相談
無料

◎現役は退いたけれど、これからも短時間やフルタイムで働きたい!
◎こんな事業を始めたい。けれど資金や経理等どうすればいいかわからない?
◎自分にあったボランティア活動をとおして社会の役に立ちたい! 等々
◇◆◇お気軽にご相談下さい◇◆◇

- 対象●
概ね 55 歳以上で就労等を考えられている方
- 支援内容●
フルタイム及び短時間就労、起業、内職、有償・無償のボランティア等への支援相談
- 相談日時●
毎水曜日・金曜日
(但し、祝日、年末年始を除く)
午前 10 時～午後 4 時
(事前に相談時間をご予約下さい)
- 場所●
丹波県民局 1 F
さわやか県民相談室内
- 問い合わせ先●
丹波県民局内
高齢者就労相談員
TEL: 0795-72-0500



兵庫県生涯現役促進地域連携事業協議会

公益社団法人 丹波市シルバー人材センター
兵庫県丹波市氷上町氷上109-8
TEL 0795-82-5166 FAX 0795-80-2110

<http://webc.sjc.ne.jp/tanbasc/>
E-mail:tanbasc@sjc.ne.jp

丹波市 シルバー

検索

